

【米国株】 通商リスク軽減期待だと堅調

【ダウ工業平均株価】

今週の予想レンジ 4万0,500～4万2,500ドル
先週のレンジ 4万0,759～4万1,773ドル

ダウ工業平均株価は、4万1,000ドル台前半まで値上がりし、4月2日以来の高値を更新した。通商リスクの軽減期待を背景に、投資家のリスク選好性が高まっている。トランプ米大統領が海外製作の映画、輸入医薬品に対して関税を課す方針を示すと、株価は下押しされる場面も見られた。しかし、その後は5月8日に米英貿易協定が成立し、更に10～11日に米中政府高官の協議予定が伝わったことで、改めて投資家のリスク選好性が高まった。米英の貿易協定は詳細については今後数週間で詰めるとされているが、米英両国が輸入障壁の縮小や撤廃で合意している。今後は他の国との通商合意も目指す方針が示されている。5月6～7日の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、政策調整は見送られた。パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が早期利下げに慎重姿勢を示したが、株価に対する影響は限定的だった。

通商問題が最大の関心事になる。米中政府高官の協議については12日に正式な報告が行われる予定だが、米国側からは建設的な協議が行われたと報告されている。このまま通商環境の関税期待が維持されるのであれば、投資家のリスク選好性の高まりが、株価を押し上げる展開が続こう。相互関税発動前の4万2,000ドル水準を試す動きには過熱感も認められるが、安値修正のトレンドが続きやすい。5月13日には4月消費者物価指数が発表されるが、株価に対する影響は限定されよう。余程のサプライズがなければ、当面の米金融政策環境の大きな変化は想定されていない。ただし、トランプ米大統領の発言によっては、地合が一瞬にして悪化するリスクを抱えていることには注意が必要。多数の関税策が維持される中、実体経済や企業業績環境の下振れリスクが解消された訳ではない。

サイコロジカルは、前週の9勝3敗から変わらず。14日RSIは47.74。

【日本株】 通商リスク緩和だと底固い

【日経平均株価】

今週の予想レンジ 3万7,000～3万8,300円
先週のレンジ 3万6,606～3万7,557円

日経平均株価は、3万7,000円台まで値上がりする展開になった。通商環境の改善期待を背景に米国株が堅調に推移する中、日本株も物色されている。日米通商環境については先行き不透明感が強いが、米英の貿易協定がまとまり、10～11日に米中政府高官の協議予定が伝わると、投資家のリスク選好性が高まった。日本株の独自要因は乏しい。日米金融政策ともに目力は大きな動きを想定する必要性が乏しくなっている。円安傾向で輸出企業の業績上振れ期待が強くなっていることはポジティブだが、国内インフレ圧力が深刻化する中では、一概にポジティブ材料とは言えない。日本企業の2025年3月期決算では、慎重な業績見通しを発表する企業が増えていることはネガティブ。一方で、同時に自社株買いなど株主還元策を強化する動きがみられることはポジティブ。

米国株と同様に、日本株についても通商環境に対する関心が高い。米中通商協議は無難に消化された模様であり、投資家のリスク選好性が維持されると、米国株と同様に日本株も押し目買い優勢の展開になろう。トランプ米大統領は相次いで新たな関税策を打ち出すなど一定の樹長官は維持されるが、通商リスクの軽減期待が維持されている間は、株高環境が維持されやすい。5月16日の1～3月期国内総生産（速報値）ではマイナス成長に陥ったことが示される見通しであることに注意が必要だが、一時的な下押しリスクに留まろう。あくまでも、通商リスク環境が重視される見通し。まずは米中通商協議を無難に消化したことで、100日移動平均線をそのまま突破すると、3万8,000円台乗せが打診される見通し。

サイコロジカルは、前週の9勝3敗から変わらず。14日RSIは63.74。



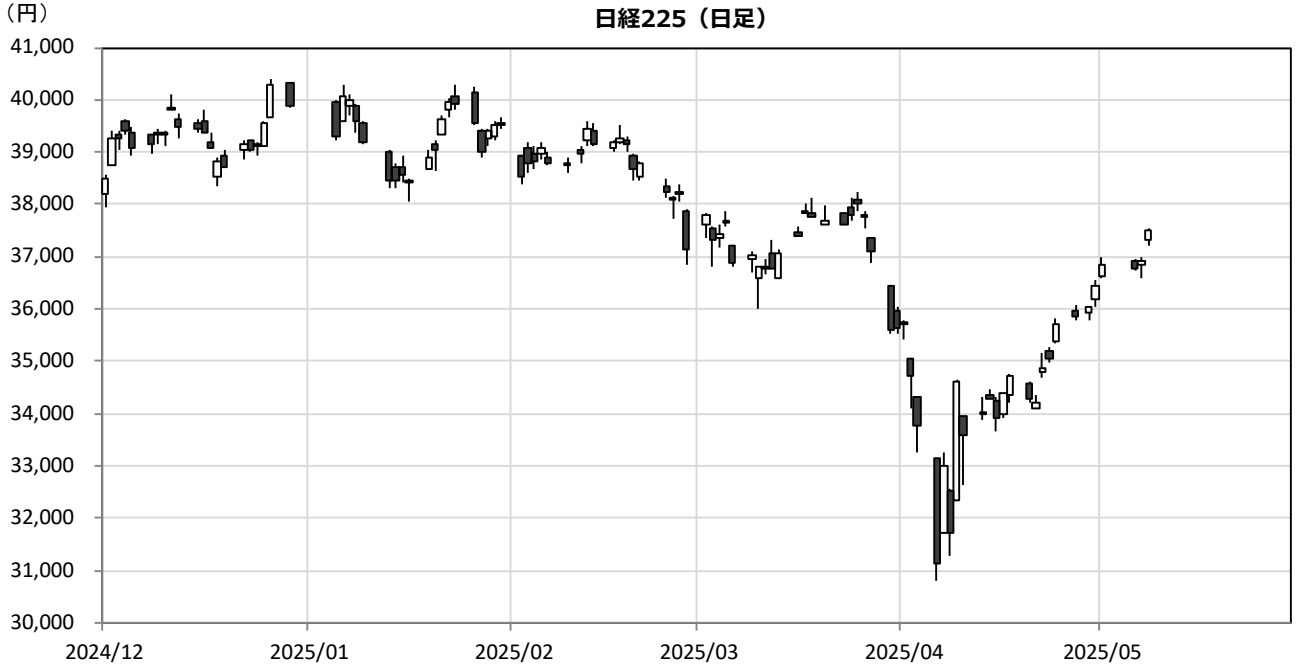
(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成



(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保障するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

Copyright© Marketedge Co., Ltd.



(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成



(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保障するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。
Copyright © Marketedge Co., Ltd.

2025/05/12(月)

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努

https://www.marketedge.co.jp
info@marketedge.co.jp

ダウ工業平均株価・構成銘柄 週間変動率

(%、前週比)	シンボル	業種	2025/4/11	2025/4/18	2025/4/25	2025/5/2	2025/5/9
アップル	APPL	コンピュータ	+5.2	-0.6	+6.2	-1.9	-3.3
アムジェン	AMGN	医薬品	-2.9	-3.0	+1.3	+0.1	-5.5
アマゾン・ドットコム	AMZN	小売	+8.1	-6.6	+9.5	+0.5	+1.6
アメリカン・エクスプレス	AXP	金融	+7.5	+0.1	+5.4	+4.5	+2.8
ボーイング	BA	航空機	+14.8	+3.2	+9.9	+4.2	+5.1
キャタピラー	CAT	重機	+1.9	+0.3	+4.1	+5.6	+0.6
セールスフォース・ドットコム	CRM	情報・通信	+5.9	-3.0	+8.3	+2.7	+0.1
シスコシステムズ	CSCO	情報・通信	+5.1	-2.7	+1.7	+4.6	+0.7
シェブロン	CVX	石油	-5.3	+1.7	+0.6	-0.2	-0.0
ウォルト・ディズニー・カンパニー	DIS	娯楽・メディア	+1.6	-0.1	+6.4	+2.4	+14.5
ゴールドマン・サックス	GS	金融	+5.0	+3.0	+6.9	+3.9	+0.2
ホームデポ	HD	小売	-0.0	+0.3	+0.7	+1.9	-0.5
ハネウェル・インターナショナル	HON	製造	+4.0	-1.0	+1.3	+7.5	-0.5
アイ・ビー・エム	IBM	コンピュータ	+3.5	+1.4	-2.7	+5.7	+1.5
ジョンソン・エンド・ジョンソン	JNJ	医薬品	-1.0	+3.8	-1.8	+1.0	-1.2
JPMorgan・チェース	JPM	金融	+12.3	-1.8	+5.0	+3.7	+0.2
ザ・コカコーラ・カンパニー	KO	飲料	+2.1	+2.2	-1.5	-0.4	-1.6
マクドナルド	MCD	外食	+3.3	+0.5	+1.7	-1.5	+0.6
スリーエム	MMM	化学	+7.1	-4.2	+5.5	+3.5	+0.4
メルク	MRK	医薬品	-2.8	-1.5	+6.1	+0.5	-8.7
マイクロソフト	MSFT	ソフトウェア	+8.0	-5.3	+6.5	+11.1	+0.8
ナイキ	NKE	その他製品	-5.0	+2.5	+3.3	+1.7	-0.5
エヌビディア	NVDA	半導体	+17.6	-8.5	+9.4	+3.1	+1.9
プロクター・アンド・ギャンブル	PG	日用品	+1.9	+2.2	-5.6	-0.3	-1.8
シャーウィン・ウィリアムズ	SHW	塗料	+1.4	-1.0	-0.5	+8.4	-2.2
トラベラーズ	TRV	保険	+1.2	+4.4	+1.3	+3.2	+0.9
ユニテッド・ヘルス	UNH	保険	+14.2	-24.2	-7.8	-4.5	-4.8
ビザ	V	その他金融	+6.5	-1.1	+1.7	+3.7	+1.4
ベライゾン・コミュニケーションズ	VZ	通信	+1.6	+0.7	-4.8	+4.4	-0.3
ウォルマート・ストアーズ	WMT	小売	+11.6	+0.5	+2.0	+3.8	-2.1

(出所) LSEGよりマーケットエッジ作成

2025/05/12(月)

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努

https://www.marketedge.co.jp
info@marketedge.co.jp

日経平均株価・業種別 週間変動率

(%、前週比)	2025/4/11	2025/4/18	2025/4/25	2025/5/2	2025/5/9
水産	+0.9	+1.3	-0.2	-1.3	+1.6
鉱業	-3.2	+4.7	-0.1	-0.1	+3.1
建設	+0.9	+4.4	+1.1	+2.1	+1.8
食品	+1.2	+3.9	-1.2	+1.2	+1.5
繊維	-5.7	+3.1	+1.4	-1.5	+3.8
パルプ・紙	+0.8	+3.6	+2.4	-1.4	-1.8
化学	-1.1	+2.2	+3.1	+2.9	-0.1
医薬品	-5.3	+9.9	+0.4	+3.9	-3.4
石油	-4.1	+3.2	+0.4	+1.3	+0.6
ゴム	+0.9	+7.2	+2.0	+2.4	+1.0
窯業	-1.0	-0.6	+4.9	+5.8	+0.5
鉄鋼	+0.3	+5.9	+0.0	+0.8	-0.9
非鉄・金属	-0.5	+1.5	+3.5	+3.0	+5.3
機械	-1.4	+1.6	+3.0	+4.2	+0.4
電気機器	-0.2	+2.3	+5.9	+2.1	+1.7
造船	+2.4	+5.4	+5.1	+0.4	-1.9
自動車	-0.6	+4.9	+4.2	+3.3	-0.6
輸送用機器	-8.7	+2.8	-0.3	+2.4	-2.0
精密機器	-2.2	+0.8	+5.4	+2.9	+3.0
その他製造	-0.4	+3.2	+0.9	+3.0	-0.8
商社	-0.0	+1.3	+2.0	+0.8	+2.8
小売業	+3.3	+3.9	-2.2	+2.9	+2.4
銀行	-0.9	+6.4	+3.0	-1.8	+4.8
その他金融	-3.8	+4.6	+1.7	+0.2	+2.8
証券	-1.2	+3.6	+2.2	-2.7	+1.9
保険	-3.9	+5.9	+4.5	+1.0	+2.7
不動産	-0.3	+2.9	-0.1	+0.8	+2.5
鉄道・バス	+1.0	+2.8	-1.2	+2.5	+1.2
陸運	-1.1	+2.3	-0.6	+2.1	+1.1
海運	+2.5	-0.4	+5.5	-4.7	+2.3
空運	-0.3	+3.1	+2.8	+1.5	+5.1
倉庫	-2.6	+2.7	+0.9	+2.9	+3.9
通信	+2.7	+4.2	+1.1	+1.8	+5.5
電力	-0.6	+1.4	+7.0	+0.5	-0.4
ガス	-0.1	+1.5	+2.0	+0.7	+0.7
サービス	+1.7	+3.7	+1.2	+4.3	+1.7

(出所) 日本経済新聞社よりマーケットエッジ作成

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)

1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。

E-mail: kosuge@marketedge.co.jp

Twitter @kosuge_tsutomu